



あべこう一 県議会レポート

発行／自由民主党千葉県議会議員会

〒260-0855 千葉市中央区市場町2番13号 電話043(227)7411

「防災県千葉」の確立に向け

闇バイトの防犯対策が課題

千葉市稲毛区選出で自民党千葉県連の幹事長を務める阿部紘一(あべ・こういち)県議は、県民・市民の声を熊谷知事ら県執行部に直接伝える立場にあり、災害や犯罪から県民の命と暮らしを守る諸施策の推進に努めています。また、日ごろから「県民が主役の県政」をモットーとしており、「防災県千葉」の確立など、県政の課題解決に尽力。3月の知事選挙を控え、骨格予算で編成された新年度当初予算案の審議が中心の2月定例県議会では、阿部県議が幹事長として質問項目の作成を主導した自民党の代表質問から、県民生活に関わりの深い諸問題について、特集してご報告します。

今後の県政運営

自民党代表 今後の県政運営において、どうあるべきと考えているのか。

熊谷知事 知事就任以来県民の命とくらしを守るとともに、本県海と緑に囲まれた自然環境や優れた都市機能を生かし、豊かな県民生活を実現できる「千葉の未来」を切り開いていくため、各種施策を進めてきました。具体的には、自然環境や新興の感染症に対し、市町村等

との連携による対応強化を図ったほか、経済分野では過去最高の企業立地件数を記録し、子育て・教育分野では第3子以降の給食費無償化など独自の取り組みを進めるなど、各分野にわたって成果が得られたものと考えています。

一方、本県を取り巻く環境は、自然災害の激甚化・頻発化、少子高齢化のさらなる進展、エネルギー・原材料価

格をはじめとする物価高騰、社会のグローバル化の一層の進展など、大きく変化し続けています。

確に対応するとともに、成田空港の機能強化や圏央道・北千葉道路などの広域道路ネットワークの整備と云った動きを、より大きな成果に結びつけていくための取り組みが求められています。

民間事業者とも連携

自民党代表 災害から県民を守る「防災県千葉」の確立に向け、どのように取り組んできたのか。

熊谷知事 県では、令和元年台風などこれまでの大規模災害の教訓を生かしながら、さまざまな分野で災害時対応協定の締結を進め、民間事業者との連携を強化するとともに、知事と市長村長とのホットラインの構築や、地域振興事務所に地域防災課を設置するなど、市町村や地域との連携を強化してきました。

また、能登半島地震を教訓に、半島性を踏まえた孤

闇バイトによる事件

自民党代表 防犯対策について、闇バイトによる強盗事件など新たな犯罪形態の出現により、県民の不安が増大しているが、県としてどのように対応していくのか。

熊谷知事 いわゆる闇バ

の予算を大幅に増額し、市町村や自治会に加え、新たに事業者も対象として設置を促進するなど、犯罪の起こりにくい環境づくりを一層進めてまいります。

また、自主防災組織の防犯パトロール活動に使用される青色回転灯装備車両、いわゆる青パト車両や防犯機材の購入支援を行っています。

さらには、ボランティアによるネット空間のパトロールや街中で活動している事業者と協働した防犯パトロールの強化など、犯罪を未然に防ぐ安全・安心な千葉県の実現に向けて取り組んでまいります。



ちば自民党政治学院開校式にて

●県連幹事長職に尽力しながら

あべこう一 県議事務所

〒263-0043 TEL.043-287-8595
千葉市稲毛区小仲台2-6-8-401 FAX.043-285-2192

阿部 紘一 検索 ホームページ <http://abe-koichi.com/>

経済成長と物価高へ対応

経済対策への県の対応

自民党代表 国の経済対策について、県としてどのように対応したのか。

熊谷知事 国においては、賃金上昇が物価上昇を安定的に上回る経済を実現するため、経済の成長や物価高への対応、安心・安全の確保を柱とする総合経済対策を策定したところです。

これを踏まえ、県では2月補正予算において、先ず物価高騰対策として、国の交付金を活用し、昨年度に続き医療機関や中小企業等に対する支援やLPガス料金の負担軽減等を実施するほか、消費喚起を目的としたポイント還元キャンペーンなどを行うこととしました。

一時保護所の支援策

さらに、防犯カメラ設置補助の大幅な増額や、災害時の避難所となる県立学校の体育館への空調設備等により、安全・安心の確保を図るとともに、福祉施設の

自民党代表 県は、一時保護所における子どもへの支援の強化にどのように取り組んでいくのか。

黒野副知事 一時保護された子どもは、年齢や保護の背景などがさまざまであり、一律の対応ではなく個々の状況に寄り添った支援が必要です。

このため、一時保護所に

骨格予算の編成方針

自民党代表 骨格予算となる令和7年度当初予算は、どのような考え方で編成したのか。

熊谷知事 令和7年度当初予算は、骨格予算として人件費、社会保障費、公債費等の義務的な経費のほか、継続事業や工程上年度当初から着手することが必要な事業等を中心に編成したところであり、政策的な判断を要する経費については、6月補正予算での対応を基本としています。

このため、当初予算においては、総合計画に掲げた施策との関連性に注意しながら、

○防災や防犯対策など、安全・安心の確立に向けて一日も早く取り組むべき事業

項、職員配置基準、設備基準等を定めることとしています。

また、条例に基づく取り組みとして、こどもの意見表明の推進、民間事業者を活用した学習支援、一時保護所を含む児童相談所全体として職員100名程度の増員、新設・建替えを行う一時保護所における十分な広さを確保した個室の設置などを行う予定です。

今後とも、一時保護所において、こどもの状況に適した環境で手厚い対応が進められるよう、支援の強化に取り組んでまいります。

○農業関係の支援など、農期にあわせて実施する必要がある事業

○デジタルの活用など、業務改善のため速やかに実施していくべき事業

スポーツ・文化局設置

自民党代表 県はスポーツ及び文化芸術の振興を図るため、どのように取り組んでいったのか。

熊谷知事 令和4年度に教育庁からスポーツや博物館・美術館などの関する事務を知事部局に移管して、スポーツ・文化局を設置し、スポーツと文化芸術の振興を本県の発展につ

スポーツについては、本県の魅力である海を活かしたサーフィンイベントやアーバンスポーツ・パラ

また、文化芸術の振興に向けた基本的な計画を策定し、施設整備などの文化振興の拠点化を進めるほか、アーティストフォーローアップ事業など、次世代を担うアーティストの育成等にも積極的に取り組ん

このような4年間で生まれた新たな取り組みや、パートナーシップをさらに展開し、誰もがスポーツ・文化芸術に親しめる千葉の実現に向けて取り組むとともに、本県のブランド価値の創出・向上や地域の活性化を図ってまいります。

あいさつ

ものであります。そのことを思いますと、議案等の採決においても自分たちの判断によって、可決・否決されることを考えますと、その責任の重さを感じます。私ども、自民党議員は県

議会において、二元代表制のもと、知事執行部に対しては、ほとんどの緊張感の中で、是々非々のスタンスで対応してまいりました。その部分については、執行部に全面的に協力し、非の部分については、できる限

これからは自民党は49名の大部分でありますので、しっかりと議論を尽くし、党としての責任を果たしてまいりたいと思います。

阿部 紘一

芸術・文化の振興に向け